

第9回

保健・医療・福祉系学生交流合同セミナー

私たちに求められる コミュニケーション力とは

このセミナーは、講演、グループワークを通じて、保健・医療・福祉関連学部の学部学生・大学院学生の交流を促進し、お互いの職種を理解することを目的としています。

大学・学部・学科・学年を超えて、一緒に考えませんか？
講演者などの詳細は決まり次第、以下のページでお知らせします。

<https://www.facebook.com/SeminarIPE>

掲示期間

2014年6月16日から
2014年7月24日まで

学務課

参加者
募集要項

対象・定員：保健・医療・福祉を学んでいる学生 100名（先着順）

参加費：700円（昼食・飲物代）

申込方法：メールに下記事項を明記の上、お申込みください。

必要事項：①氏名(ふりがな) ②性別 ③大学名 ④学部・学科名
⑤学年 ⑥メールアドレス ⑦連絡のつきやすい電話番号

申込締め切り：2014年7月21日(月)

申し込み
問い合わせ

首都大学東京健康福祉学部 大学連携支援室

電話 03-3819-1211 (200) ipe-k@tmu.ac.jp

※後期集中科目【多職種連携教育】(シラバス P166)を受講する学生は必ず本セミナーへ参加してください。科目内容の一部となります。但し、期末試験日と重なる場合には速やかにご連絡をお願いします。

2014年 8月6日 (水)

10:00~17:30

慶應義塾大学薬学部

芝共立キャンパス 2号館4階大講義室

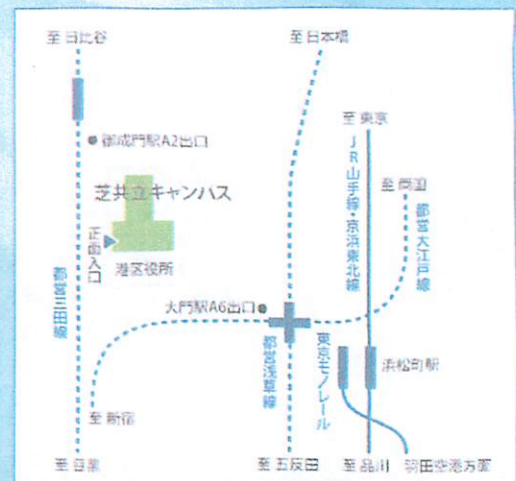
東京都港区芝公園1-5-30

<http://www.pha.keio.ac.jp/>

共催：慶應義塾大学看護医療学部

慶應義塾大学医学部

首都大学東京 文京学院大学



JR山手線/JR京浜東北線 浜松町駅下車 徒歩10分
都営地下鉄三田線 御成門駅下車 徒歩2分
都営地下鉄浅草線/大江戸線 大門駅下車 徒歩6分

保健・医療・福祉系学生交流合同セミナー 開催状況

共通テーマ： 保健・医療・福祉系多職種により良いコラボレーションを求めて

No.	日時	テーマ	◎主催／共済 (参加人数:学生/教員)
第1回	2007.03.22	医療系多職種の寄り良いコラボレーションを求めて ケーススタディとグループワーク :抗がん剤の過剰投与 フィードバックレクチャー :病棟でのチームワーク -NSTの場合-	◎慶應薬学部 / 首都大学 東京、東京慈恵会医科大、 聖路加看護大学 (100名/23名)
第2回	2007.08.10	ターミナルケア 人の終焉を考える ケーススタディ「VTRを観る」 :がん患者に学ぶ・緩和ケア最前線(ETV特集より) グループワーク「自分たちで考えてみる」 :多職種混成グループでのワークショップ フィードバックレクチャー—医療現場の声を聞く— :緩和ケアにおける心のサポート いのちを看まもる看護～死を看まもる看護～ 緩和ケアにおける臨床薬剤師	◎慶應薬学部 / 首都大学 東京、東京慈恵会医科大、 聖路加看護大学、日本医科 大学、東京女子医科大学、 慶應義塾大学医学部、杏林 大学医学部 (114名/23名)
第3回	2008.08.08	在宅医療の未来設計 事例に基づくグループワーク :認知症・心不全・がんの問題点の抽出、解決方法、将来のシステムなどについて自分たちで考えてみる パネルディスカッション—医療現場の声を聞く— :学生の発表を聞いて—現場からの声— 医療系学生たちに寄せて—在宅医療の未来設計—	◎慶應薬学部 / 首都大学 東京、聖路加看護大学、杏 林大学医学部、日本医科大 学、慶應義塾大学医学部、 同看護医療学部 (102名/27名)
第4回	2009.09.26	高齢化を支える…これからの多職種連携 「ワールド・カフェ」によるグループワーク :(計6ラウンド)高齢者医療福祉のイメージ→高齢者に対する多職種のアプ ローチ→高齢者福祉が抱える現在の問題点→フリーディスカッション→事例 検討→まとめ及びポスター発表 フィードバックレクチャー :高齢者の安心できる療養生活に向けて～急性期を脱した後の医療提供体 制の整備～	◎首都大学東京本学部 / 慶應薬学、東京慈恵会医科 大、聖路加看護大学、新潟 医療福祉大学 (63名/13名)
第5回	2010.08.07	神経難病と歩む DVD鑑賞 :「動かない体で生きる私の、それでも幸せな日常」ALSという神経難病と共 に生きる塚田宏さんのドキュメンタリー 『ワールド・カフェ』によるグループワーク :(計5ラウンド)自己紹介と自分の職種について→ALS患者を支援するには →自分の職種から見た患者支援→多職種ハーモニーを作る ご家族の講 演、ふれあいタイム →まとめ及びポスター発表	◎首都大学東京本学部 / 慶應義塾大学薬学部、東京 慈恵会医科大 (58名/13名)
第6回	2011.08.30	大規模災害時の活動を考えよう 講演 :東日本大震災被災地での支援活動(慶應義塾大学薬学部教員、学生) 途上国での医療体験(ゲストスピーカー) グループディスカッション :そのとき、あなたならどうする	◎慶應薬学部 / 首都大学 東京、東京慈恵会医科大、 慶應義塾大学医学部、同大 学看護医療学部 (63名/12名)
第7回	2012.08.07	講演: ソーシャルワーカ目で見えた保健・医療・福祉とは ～誰のために、誰に、何を求められているか～ グループワーク: 保健・医療・福祉の「いいね！」をみつけよう	◎慶應義塾大学薬学部 / 慶應義塾大学医学部、同大 学看護医療学部、首都大学 東京
第8回	2013.08.08	ミニレクチャー: 学習カリキュラムとは? グループディスカッション① :チーム医療の一員となるために、卒業時にどのような能力を身に落けてい くべきか? グループディスカッション② よりよい医療人となるための多職種連携教育のカリキュラムを考えてみよ う!	◎慶應義塾大学薬学部 / 慶應義塾大学医学部、同大 学看護医療学部、首都大学 東京、文京学院大学